

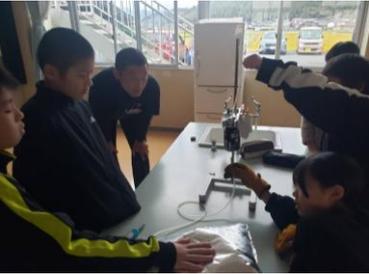
# 令和8年度 各講座の紹介

講座名	<b>①水辺の教室</b> 	<b>②食品講座</b> (食べ物を選ぶ力) 	<b>③3R体験教室</b> (エコキャンドル・エコバック・ふろしき) 	<b>④バードウォッチング</b> 
写 真				
キーワード	自然、生き物、地域	食育、食品ロス	地球温暖化、ごみ問題、3R	自然、生き物、地域
実施時期 (所要時間)	5月下旬～9月上旬 (2コマ)	随時(2学期以降が望ましい) (2コマ)	随時 (2コマ)	4月～10月 (2コマ)
対 象	小学校3～6年生	小学校～高齢者まで	小学校～高齢者まで	小学校1年生～
講 師	岡山県環境学習センター 「アスエコ」講師	NPO法人真庭めぐりガーデン プロジェクト講師	真庭広域廃棄物リサイクル事業 協同組合職員	おちあい野鳥の会講師
目 的	川の生物を採取し、自分たちの住んでいる地域の川がどのような状態なのか調べることで、環境保全への意識を高める。	食べ物がどうやってできているのかに興味を持ち、地域の農業や、食品ロスの問題に興味を持つ。	エコキャンドル、エコバックの体験をすることで、Reduce、Reuse、Recycleの3Rの重要性を学ぶ。	自分たちの住んでいる地域の山に生息する野鳥を観察し、生物と環境とのかわりを学ぶことを通して、環境保全への意識を高める。
内 容	<p>深さ20～30cmの川で魚や貝、水生昆虫を採取し、県配布の資料を参考に生息生物から川の汚れを調べる。</p> <p>※小学校から徒歩で行ける場所に生物を採取できる川があることが前提です。(下草刈りなどの場所整備をお願いします。)</p>	味噌を仕込むことで、食べ物の材料や伝統の知恵、技術を知るとともに、手作りすることで、環境負荷を軽減できることを学ぶ。規格外野菜を使用した調理で農業や食品ロスの取組に関心を深める。	真庭市のごみ問題を学習し、3Rの重要性を学習する。講義の後は、エコキャンドルやエコバックを作る体験です。学年PTA活動でも人気の講座。 ふろしき講座は1枚の風呂敷でバッグ、小物入れなど様々な使い方を体験できる。親子体験会やサロン会などで人気。	学校近くの山などで野鳥や草木を観察し、見つけた鳥の種類や生息する環境について学ぶ。あわせて食物連鎖と関連づけた自然の大切さを学ぶ。

# 令和8年度 各講座の紹介

講座名	⑤電気自動車 体験教室 	⑥ホテルから考える 環境保全 	⑦ごみの未来を 考えよう 	⑧自然再生 エネルギー体験教室 
写 真				
キーワード	エネルギー、地球温暖化	自然、生き物、地域	ごみ問題、地域	エネルギー、地球温暖化
実施時期 (所要時間)	随時 (2コマ)	5, 6月 (2コマ)	随時 (2コマ)	4月～11月(8月を除く) (2コマ)
対 象	小学校5・6年生、中学生	小学校3～6年生	小学校4年生～中学生	小学校5・6年生、中学生
講 師	岡山県地球温暖化 防止活動推進員 (アスエコ講師)	北房ホテルの文化 推進継承の会会員	くらしの循環センター職員	おかやまエネルギーの未来を考 える会
目 的	地球温暖化防止の一環として 環境に優しい車である電気自 動車を利活用し、環境意識の 向上を図る。	地域に生息するホテルの分布や 保護活動の様子、観光資源と しての活用状況を伝え、今後の環 境保全への関わり方を考える。	自分たちの住む真庭市でのご み問題を生ごみ資源化をもとに 考える。	各種エネルギーを整理して脱炭素 について考えるとともに、環境問題 について考え、地球環境の大切さ を学ぶ。
内 容	地球温暖化や再生可能エネル ギーについての知識を習得し、 そのうえで自動車と環境問題 について考え、地球環境の大 切さを学ぶ。 (電気自動車の試乗も実施)	ホテルについての講話及びホテ ルマップの作成など (平成25年度までは団体・学校間 で開催調整していたもの)	くらしの循環センター見学に 来れない学校に対して出前講座 を行う。 真庭市のごみ問題や取り組み について学び、資源循環の大 切さについて考える。	小水力発電装置の仕組みの説明 や、ソーラーパネルや自転車によ る発電などの体験を行う。

# 令和8年度 各講座の紹介

講座名	<b>⑨川のつながりを考える</b> 	<b>⑩おならでお湯を沸かそう</b> 	<b>⑪ごみゼロゲーム</b> 	<b>⑫プログラミングでカーボンニュートラルを学ぼう</b>  <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">New</span>
写真				
キーワード	自然、生き物、地域	ごみ問題、地域	ごみ問題、ごみ分別、3R	エネルギー、地球温暖化
実施時期 (所要時間)	9月～ (2コマ)	随時 (1コマ)	随時 (1コマ)	随時 (2コマ)
対象	小学校4年生～	小学校4年生～	小学校3年生～	小学校6年生～
講師	旭川流域ネットワーク講師	NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト講師	真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合職員	真庭市役所 地域エネルギー政策課職員ほか
目的	自分たちの地域の川について学ぶとともに、その川が下流・瀬戸内海につながっているのを認識することにより、環境保全への意識を高める。	メタン発酵を活用したごみの資源化について学び、目線を変えることでごみから資源として見ることの重要性を理解する。	身近なものを3R等を使って、ごみの出ない生活スタイル、ごみの減らし方を考える。	CO2排出量のシミュレーターのプログラミングを通じ、カーボンニュートラルに向けたアクションについて学ぶとともに、日常の行動変容につなげていくことを目指す。
内容	水の循環や川～海とのつながりについてのお話を聞き、生活の中で水を大切に使う工夫について考える。教室で水質検査キットを使い、近くの川や水路の水、水道水、汚れた水の水質を比較する実践を行う。	真庭市の資源化の仕組みを学び、真庭市暮らし循環センターから出る「メタンガス」を使いお湯を沸かす実験。沸かしたお湯で富原で採れたお茶を飲みます。	NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミーが制作した「ごみゼロゲーム」を使って、ごみの減らし方を考えるカードゲーム。一度に5人で遊ぶ設計ですが、2人ペアなどのチーム戦にして、20人以上でも実施可能。	真庭市のCO2排出量や環境政策を組み込んだシミュレーターを自身でプログラミングし、CO2排出量削減アクションを入力して、どうやったら真庭市がカーボンニュートラルを実現できるかをシミュレートする。脱炭素社会への取組を自分事として捉え、行動につなげられるようになることを狙いとしています。

# 令和8年度 各講座の紹介

講座名	<b>⑬みらいの森プロジェクト</b> 	<b>⑭食品ロス講座</b> 		
写 真				
キーワード	環境、自然、資源循環	地球温暖化、食品ロス問題		
実施時期 (所要時間)	随時 (2コマ～)	随時 (2コマ)		
対 象	小学校～高齢者まで	小学校5・6年生		
講 師	NPO法人真庭あぐりガーデン プロジェクト講師	セブンイレブンジャパン 社員		
目 的	「やっかいもの」と呼ばれるものを、どのように活用すれば地域資源に変えられるかを考える。	子供たちが日常で取り組める食品ロス削減方法を学ぶ。		
内 容	竹林の問題点や竹が持つ可能性を学び、活用法を考える授業。クイズやディスカッションを通じて「やっかいもの」の竹を資源として活かすアイデアを考える。七つのFや実践例も紹介し、持続可能な社会を探求する。	世界の食品ロスの現状を学習し、国内や企業の食品ロス削減に向けた取り組みを学ぶ。 身近なお店、セブンイレブンジャパンの食品ロス削減の取り組みから、日常の買い物や食事ですら取り組める事を考える。 『てまえどりPOP』を作成し、近くの店舗に掲示することで食品ロスに対する意識を高める。		

## ＜共通事項＞

- ・実施人数については、安全面などから1クラス程度としています。
- ・家庭科室や学校の備品をお借りすることがあります。
- ・準備物は別途お知らせしますが、自分の身支度や家にあるような簡単なものです。
- ・実施時期(所要時間)や内容については、多少変更する場合があります。



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

その他希望する出前講座がある場合は、遠慮なくご相談ください。  
(予算の都合上応じられない場合もありますがあらかじめご了承ください。)

## ご参考

### 真庭市くらしの循環センター見学



(場所:真庭市赤野1205番地2)

《実施期間》 随時  
《対象》 小学校1年生から  
《所要時間》1時間程度

《講師》 真庭市くらしの循環センター職員

《目的》 真庭市のごみ問題と循環型社会について考える。

《内容》自分たちの住む真庭市のごみ問題や循環型社会の取り組みについて学び、くらしの循環センターを見学します。

※真庭市くらしの循環センターまでの交通費はご負担いただきます。(真庭観光局の市内小中学校バイオマス等普及活動を利用して見学することもできます。詳細は真庭観光局 TEL:0867-45-7111 へお問い合わせください。)

※お申込み、日程調整等は直接、真庭市くらしの循環センターへご連絡(TEL:0867-44-1710)をお願いします。

### 自然体験学習 (津黒いきものふれあいの里)



(場所:真庭市蒜山下和1077)

《実施期間》 随時  
《対象》 小学校1年生から  
《所要時間》1時間～

《講師》 津黒いきものふれあいの里職員等

《目的》 豊かな自然の中での活動を通して、自然環境保全への意識を高める。

《内容》 津黒いきものふれあいの里のフィールドを活用して、生き物観察会や森林作業体験(下草刈り等)などが体験できます。校外学習や遠足で人気講座です。  
※津黒いきものふれあいの里までの交通費はご負担いただきます。(一部補助制度があります。)

※お申込み、日程調整等は直接、津黒いきものふれあいの里へご連絡(TEL:0867-67-7011)をお願いします。